



2018年度 第1回研修会

7月13日(金)、ひまわりセンターにおいて、「こども支援と地域づくりとSSWer」というテーマで、まんのう町スクールソーシャルワーカーの武川 咲子さんが実践報告を行いました。

今回の研修は、コメンテーターに森岡 優さん(自立支援ホーム響 ホーム長)をお迎えし、武川さんがこれまでに取り組んでこられた地域づくり活動の実践報告をもとに、こども支援のあり方や地域活動に伴う課題を検討する形で行われました。

機能不全の家庭で育ったこどもたちの支援をしたことをきっかけに、「こども自身が生活力を高めたいけるような支援をしたい」という想いを抱いた武川さん。放課後の居場所提供、地域でのイベント実施などに取り組んだのち、現在は犬猫殺処分を減らしていくことを目標に掲げたこどもたちを支援する団体で活動をされています。こども自身が、自分にできることを模索しながら経験を重ね、地域での活動を展開していくなかで主体性を獲得していくことの意義が語られました。一方で、地域活動をどのように持続・発展させていけばよいのか？そのためには何が必要か？といった課題もあり、参加者それぞれの立場から、様々な視点や経験に基づいた意見感想が出されました。

SSWerとして、地域の活動を知り、地域の一員としてのつながりを大切にしながら自己研鑽していくことの価値を再認識できた有意義な研修となりました。



会員投稿のひろば「実践の中で思うこと」

今回は、丸亀市でスクールソーシャルワーカーとして活動しておられる土居 やよいさんに投稿をいただきました。

私は、丸亀市市教育委員会所属のSSWerとして、丸亀市内の中学校2校、小学校2校を担当しています。今年でSSWerになって3年目になりました。

最初の1年は、学校のアセスメントをし、生徒を取り巻く状況を把握し、どうしたら良いのか共に、悩み考えているうちに過ぎていったような気がします。2年目は、専門職としてどのように関わり、支援できるか、また、個々のケースにおいて本人のニーズに寄り添いながら援助方法を模索していました。そして3年目になり、実践の中で相談体制や支援のしくみ作りの構築の課題が見えてくるようになり、それゆえの悩みや葛藤が生じています。

この2年半の実践の中でさまざまなことがありました。やりがいを感じることも、反省すること、励まされることも、後悔すること、これら全てが経験となり、勉強となる日々でした。

いまだ2年半、されど2年半。これからもいろいろなことが起こるでしょう。その中で、本人のニーズを大切に、専門職としての価値や倫理に基づき、支援の基礎となるアセスメントを丁寧に行い、随時見直しも行っていく。それに伴い、学校での支援体制を整え、他の関係機関へのつながりも意識したアプローチをしていくという、私の目標と想いを軸に実践に励んでいきたいと思っています。



会員紹介！

稲鬮 雅(いなづら みやび)さん 東かがわ市専門指導員

私は、東かがわ市こども総合支援センターでスクールソーシャルワーカーとして勤務しています。好きなキャラクターはドラえもんで、職場の私のデスクは爽やかなブルーに染まっています(笑)

SSWerとして、『こどもたちが「なりたい自分」になれる』そんなお手伝いができるように、これからは笑顔を大切にしながら、知識、技術、経験を積み重ねていきたいと思っています。こんな私ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



はじまります！協会主催 養成講座

申込〆切間近！

今年の養成講座が9月8日(土)からはじまります。この養成講座は、現任ワーカーだけではなく、学校関係者や福祉を学ぶ学生にとって、ソーシャルワークの核を学ぶ絶好の機会となります。

今回は、NPO法人修復的対話フォーラムの山下英三郎氏をお迎えして修復的アプローチを学びます(専門講座)。

山下氏は、刑事司法分野における修復的アプローチをソーシャルワーク技法として取り入れた実践を行っています。氏の提唱する修復的アプローチは、いじめの被害者と加害者が直接対面して、話し合うことで根本的な解決を図ろうとするものです。

養成講座の内容は、次回発行のニュースレターで報告します。どうぞ、ご期待ください！

今年度の編集広報委員紹介です

今年度も皆様に原稿依頼等でお世話になります、編集広報委員。自己紹介の代わりに、「私がずっと続けていること」を紹介します。

小結 岡本 久二代

「大相撲観戦」

ちょっと遊んでみました

ひいきの力士の取り組みに一喜一憂!!友だちには「渋いおっさん」と呼ばれています。

関脇 波多江 愛

「痩せないダイエット(笑)」

太りやすく痩せにくい特技あり。美味しいものをたくさん食べるために終わらないダイエットを続けています。

大関 小川 真理子

「500円玉貯金」

フィンランドのムーミン谷に行く夢が叶いますようにと願いながらムーミンハウスの貯金箱にコツコツ投入しています。



大関 清水 美沙

「大事に大事に観葉植物を育てること」もらった時からパキラが30センチも伸びました！

横綱 川添 美智

「長女の離乳食時期から出汁をとっていること」

鰹と昆布、野菜、いりこの三種類。料理下手な私としては今まで続くななんて快挙です。

編集・発行

いよいよ2学期です。皆様いかがお過ごしでしょうか。今夏は豪雨災害にはじまり、「災害級の暑さ」と表現される、暑い暑い夏でした。身近な方が被害にあわれたりと、心を痛める夏になった方もいらっしゃるかもしれません。

このニュースレターを通じて、今年度下半期に向けて「自分もがんばろう！」という気持ちになっていただけたら嬉しいです。ニュースレターの内容について、皆様のご意見ご感想、「投稿のひろば」へのご投稿を編集広報委員一同、お待ちしております。

香川スクールソーシャルワーカー協会 編集広報委員 岡本 小川 川添 清水 波多江

事務局：四国学院大学西谷研究室内 香川県善通寺市文京町3-2-1

✉ kagawa.k.ssw@gmail.com